

農業・地方創生分野における 企業のCSV活動について

2021年11月8日

高崎健康福祉大学農学部
アグリビジネス研究室
齋藤文信



CSR経営からCSV経営へ

- 企業は安いコストで良い商品・サービスを顧客に提供
- CSR（企業の**社会的責任**）として商品の生産活動上の責任に加え社会の構成員としての責務

（社会規範を含む法令順守、社会貢献活動（文化芸術支援、慈善活動など）

→ 本業周辺での活動が中心

ポーター教授による提唱

- CSV (Creating Shared Value) として本業の事業活動を通じた社会的な**価値の創造**
- 各企業が本業を通じて社会的ニーズや課題に対応していく概念

3

農業・地方創生分野における企業のCSV活動例

- 企業として農業に直接参入
- 食品関連事業者による地域原料の活用、原料生産者の育成
- 小売業による地域特産品の開発支援、商品化、都市部での販売
- 自治体側では企業の実証実験の場の提供（自動運転車の実験など）

4

農業・地方創生分野でのCSV活動のポイント

- 長期的な視点が必要（例：生産や販売地域の衰退を防ぐなど）
- 事業に必要な資源の継続的確保
- 自己完結ではなく他社（取引先）・自治体・地域との連携をもつ
- バリューチェーン上の社会的問題に着目する（原料調達、加工、販売の各局面の課題解決）

5

「衣」「食」「住」に直接関連しない場合は？

本業の事業領域に「農」「地方創生」が直接関わらない



社員食堂・従業員の福利厚生メニューに「農」「地方創生」を加えていく

6

社員食堂・福利厚生 の活用例

企業活動を担う従業員との価値創造 として位置付ける

- 地方産品を社員食堂で提供
→ 食堂受託企業との協働
- 福利厚生メニューへの導入
→ 都市（周辺）農地を活用した社員
（+ 家族）の農業体験